



東京メトログループは、
ミッション（グループ理念）である「東京を走らせる力」のもと、
東京を中心とした首都圏の鉄道ネットワークの
中核を担う交通事業者として、
引き続き、お客様の安全を第一に様々な取組みを進めていきます。

すべてのステークホルダーから 選ばれる企業グループを目指して

「統合報告書2026」公開にあたって

当社グループは、ミッション(グループ理念)である「東京を走らせる力」を中心に、「次の『あたりまえ』と『ワクワク』を」というビジョンの実現に向けて、サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)に基づく各種施策を推進しています。

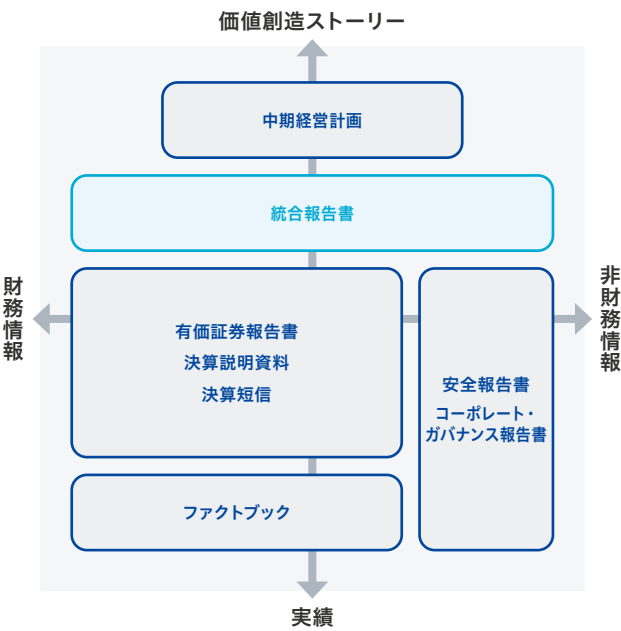
ステークホルダーの皆様へ、当社グループの強み、目指す方向性や戦略、各種取組み等について、財務・非財務の両面からより一層のご理解を深めていただくことを目的に、「統合報告書」を発行しています。

「統合報告書 2026」においては、統合報告書に係る各種フレームワーク・ガイドラインを意識しつつ、当社グループの「経営資本」や「強み」を活かしてビジョンの実現を目指す当社グループの価値創造プロセスやビジネスモデルを明示するほか、中長期的な価値創造に向けてのトップコミットメント・各事業の成長戦略・ガバナンス体制等についても記載しています。

今後も本報告書を通じて、ステークホルダーの皆様との対話を深め、持続的な企業価値の向上に取り組んでいきます。

各発行物の位置付け

発行物	内容
統合報告書	当社グループの財務情報及び非財務情報を投資家をはじめとするマルチステークホルダーへ発信しています。
ファクトブック	事業に関する詳細な情報、経年の業績・財務情報を公表しています。
有価証券報告書	金融商品取引法第24条第1項に基づき作成し、関東財務局長への提出を義務付けられている報告書です。通期の財務状況等に関して法令に基づき、開示しています。
コーポレート・ガバナンス報告書	東京証券取引所の「コーポレートガバナンス・コード」に従い、当社のガバナンスの考え方や機関設計、運用状況、取締役会の実効性評価等を記述し、東京証券取引所へ提出している報告書です。
安全報告書	鉄道事業法により公表が義務付けられている報告書です。安全方針、安全重点施策、前年度に実施した安全に関する取組みの内容等を開示しています。



報告対象等

- 報告対象範囲

当社グループ全社(東京地下鉄株式会社及び16社のグループ会社)と公益財団法人メトロ文化財団

[P.99](#)

- 報告対象期間

2025年4月～2026年3月

(ただし、継続的な取組みや重要な事項については、2026年度及び2025年度以前の情報を含めています)

- 発行時期

2026年10月

参考にした主なガイドライン

- 国際統合報告フレームワーク(IFRS財団)
- 価値協創ガイダンス(経済産業省)

将来の見通しに関する注意事項

本報告書には、当社グループの現時点における計画や経営方針・経営戦略等に基づいた将来の見通しが含まれています。

これらは現時点で入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいており、様々な要因によって、実際の事業活動や財務影響等が異なる結果となる可能性がありますので、ご了承ください。

Webサイトのご案内

最新の情報はIRサイトをご参照ください。

[IR情報](#)

CONTENTS

イントロダクション

編集方針
CONTENTS
事業の全体像・セグメント構成
経営指針
すべてはお客様の「安全」のために

01 コミットメント

02 価値創造

03 戦略

04 サステナビリティ

05 コーポレート・ガバナンス

06 データ



CONTENTS



POINT → コミットメント
トップメッセージ

経営指針や株主還元方針などについて、経営陣が自らの言葉で語り、株式市場を意識した経営の考え方や中期経営計画への取組み状況等をお伝えします。

→ UPDATE POINT

非運輸事業の成長戦略や将来像等について、足元の状況も踏まえて解説します。



POINT → 価値創造
ビジネスモデル

当社グループのビジョン実現に向けた価値創造プロセスについて、詳細に解説しています。

→ UPDATE POINT

当社グループの各事業の役割と相互の関係を明確化し、それらが価値創造にどうつながっているかを具体的にお示ししたビジネスモデルを新たに掲載しています。



POINT → 戦略
重要な経営テーマと対応方針

2025年度に発表した中期経営計画の進捗状況と今後の取組みについてお伝えします。

→ UPDATE POINT

当社グループを取り巻く経営環境への対応方針として4つの重要な経営テーマに基づく取組みを示します。



POINT → コーポレート・ガバナンス
実効性評価・社外取締役座談会

健全なガバナンス体制の実効性を発信するとともに、当社グループの経営について社外取締役が座談会形式で語っています。

→ UPDATE POINT

取締役会の実効性評価や社外取締役の機能発揮に関する内容等を強化しています。

イントロダクション

- 2 編集方針
- 3 CONTENTS
- 4 事業の全体像・セグメント構成
- 5 経営指針
- 6 すべてはお客様の「安全」のために

01 コミットメント

- 8 社長メッセージ
- 15 経営企画本部長メッセージ

02 価値創造

- 20 東京メトログループの概要
 - 20 数字で見る東京メトロ
 - 21 事業エリア
 - 22 価値創造の歴史
- 24 価値創造プロセス
- 25 ビジネスモデル
- 26 経営資本
- 27 強み

03 戦略

- 31 ビジョン実現に向けたストーリー
- 32 新線・未来コンセプト203X
- 33 サステナビリティ経営・サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)
- 36 中期経営計画(2025年度～2027年度)

37 事業戦略

- 37 各事業本部長メッセージ
- 38 運輸業(鉄道事業)
- 39 都市・生活創造事業(不動産事業)
- 40 都市・生活創造事業(ライフ・ビジネスサービス事業)
- 41 特集 新線建設
- 43 特集 経営環境の変化を踏まえた重要な経営テーマと対応方針

04 サステナビリティ

- 45 Theme 1 地下鉄を安全に、そしてつよく
- 50 Theme 2 一人ひとりの毎日を生き活きと
- 56 Theme 3 東京に多様な魅力と価値を
- 59 Theme 4 地球にやさしいメトロに
- 66 Theme 5 新たな時代を共に創る力を
- 74 TOPICS 事業活動を通じたソーシャルインパクトの創出

05 コーポレート・ガバナンス

- 76 ガバナンス at a glance
- 77 社外取締役座談会
- 82 役員一覧
- 84 取締役会の構成
- 85 コーポレート・ガバナンス
- 90 コンプライアンス・リスクマネジメント
- 92 ステークホルダーエンゲージメント
- 93 株主・投資家との対話

06 データ

- 95 財務・非財務ハイライト
- 97 11か年財務データ
- 98 6か年非財務データ
- 99 会社データ

CONTENTS

イントロダクション

- 編集方針
- CONTENTS
- 事業の全体像・セグメント構成
- 経営指針
- すべてはお客様の「安全」のために

01 コミットメント

02 価値創造

03 戦略

04 サステナビリティ

05 コーポレート・ガバナンス

06 データ



東京メトログループは、グループ理念である「東京を走らせる力」に基づいて、東京に集う人々の生活や、経済活動を支える鉄道を核とした都市・生活創造型企業グループとして、様々な事業に取り組んでいます。

事業内容	総路線距離	全線195.0キロ(営業キロ)
1. 旅客鉄道事業の運営	駅数	180駅
2. 都市・生活創造事業の運営	車両数	2,718両
●不動産事業	輸送人員数	1日平均704万人
●ライフ・ビジネスサービス事業		

営業路線(2026年3月31日現在)

G 銀座線	浅草～渋谷間 14.2km	T 東西線	中野～西船橋間 30.8km	Z 半蔵門線	渋谷～押上 (スカイツリー前)間 16.8km
M 丸ノ内線	池袋～荻窪間 24.2km 中野坂上～方南町間 3.2km	C 千代田線	北綾瀬～ 代々木上原間 24.0km	N 南北線	目黒～ 赤羽岩淵間 21.3km
H 日比谷線	北千住～中目黒間 20.3km	Y 有楽町線	和光市～ 新木場間 28.3km	F 副都心線	小竹向原～ 波谷間* 11.9km

* 運行区間は和光市～渋谷間20.2km



CONTENTS
イントロダクション
編集方針
CONTENTS
事業の全体像・セグメント構成
経営指針
すべてはお客様の「安全」のために

01 コミットメント
02 価値創造
03 戦略
04 サステナビリティ
05 コーポレート・ガバナンス
06 データ

運輸業

鉄道事業

事業概要
東京都区部を中心に、9路線(営業キロ195.0km)、180駅からなる地下鉄ネットワークを保有し、鉄道の運行及び運営並びに鉄道施設等の保守管理を行う

2025年度 営業収益	2025年度 営業利益
3,866 億円	761 億円
構成比	構成比
89.6%	85.2%

都市・生活創造事業

不動産事業

事業概要
当社沿線を中心にオフィス・ホテル・住宅等の不動産の開発・賃貸を行う

2025年度 営業収益	2025年度 営業利益
146 億円	43 億円
構成比	構成比
3.4%	4.9%

ライフ・ビジネスサービス事業

事業概要
当社駅構内をはじめとした商業施設の運営、駅構内・車両内の広告媒体の提供、光ファイバーケーブルの賃貸等を行う

2025年度 営業収益	2025年度 営業利益
263 億円	85 億円
構成比	構成比
6.1%	9.5%

東京メトログループのミッション(グループ理念)である「東京を走らせる力」を中心に、ビジョン(実現したい未来)、バリュー(約束する価値)、スピリット(大切にする精神)からなる経営指針を掲げています。

経営指針



次の「あたりまえ」と「ワクワク」を

安全・安心な日常を支えながら、一人ひとりに合わせたリアルならではの体験や機会を生み出すことで、誰もが生きる「喜び」を実感しながら過ごせる未来を目指します。

次の「あたりまえ」

「あたりまえ」は日々進歩していくもの。東京メトログループの事業も日々進化させ、世の中のあたりまえをリードしていく。

次の「ワクワク」

新しい移動体験の提供や地域・行政・開発事業者などのパートナーとの共創により、誰もが心おどる未来をつくる。

東京を走らせる力

私たち東京メトログループは、首都圏の鉄道ネットワークの中核を担う事業者として、首都東京の都市機能を支え、都市としての魅力と活力を引き出すとともに、優れた技術力と創造力により、安全・安心で快適なより良いサービスを提供し、東京に集う人々の活き活きとした毎日に貢献します。



東京を走らせる力

ミッション

(グループ理念)
日々果たすべき使命

ステークホルダー軸

社員軸

バリュー

約束する価値

スピリット

大切にする精神

- 強靱な交通インフラを構築し、安全で安心な輸送で世界をリードして行きます
- 快適で利便性の高い移動体験を提供し、一人ひとりの毎日に寄り添ったサービスを展開します
- 多くの「ひと」と「まち」をつなぎ、沿線地域の豊かさを創出します
- 環境先進企業として、脱炭素・資源循環型社会の実現を牽引します
- 人権を尊重し、DE&Iを推進することで、人と技術の可能性を最大限に活かします

私たちの決意

- ・たゆみなき「安全」の追求
- ・お客様視点に立った質の高い「サービス」の提供

私たちの志

- 自律 高い規範意識のもと、自ら学び、自分の考えを磨き、行動する
- 挑戦 変化の兆しを感じ取り、変化を恐れず行動する
- 協働 異なる価値観を受容・尊重し、周囲と連携する

CONTENTS

イントロダクション

- 編集方針
- CONTENTS
- 事業の全体像・セグメント構成
- 経営指針
- すべてはお客様の「安全」のために

01 コミットメント

02 価値創造

03 戦略

04 サステナビリティ

05 コーポレート・ガバナンス

06 データ



たゆみなき「安全」の追求は、東京メトログループの企業価値の根幹であるスピリットです。全役員・社員が決意と志を常に持ち、安全を最優先にする企業風土を形成することで、すべてのお客様に「安全」という「あたりまえ」を提供できるように努めています。

私たちの決意

私たちは、お客様の安全を第一に、
たゆみなき「安全」の追求と
お客様視点に立った質の高い「サービス」の提供によって、
すべてのお客様に「安心」をお届けすることを使命とし、
より一層取り組んでまいります。

たゆみなき「安全」の追求

2000年3月8日、中目黒において日比谷線列車脱線衝突事故を起こしました。

私たちは、事故の反省に立って、このような悲惨な事故を決して繰り返さないという固い決意を持ち、輸送の安全に対する意識の改革や設備改良に取り組んできました。

私たちは「安全」を確保するためには、全社員がお客様の安全を第一に、たゆまぬ努力を継続することが必要であると考えます。日比谷線列車脱線衝突事故を風化させることなく、職種を問わず、新人からベテランに至る全社員が、安全を最優先する意識を持ち、組織能力としての「現場力」を高めるとともに、新技術の開発や導入等により、さらなる安全文化を築き上げることが私たちの大きな務めです。

たゆみなき「安全」の追求、これが鉄道を運行する私たち東京メトログループの使命です。

(注)「輸送の安全」とは、列車の運転のみならず、お客様が利用される施設や自然災害対策設備などを含むお客様の安全に係るすべてのものを指している。

安全文化の醸成

日常の業務において安全を最優先に、予防保全、事故の未然防止を念頭に、自ら考え行動を起こすことにより、さらなる安全文化の醸成に向け、取組みを進めています。

▶「安全の日」に係る取組み

鉄道の最も重要な使命である「安全」を誓う日として、毎年3月8日を「安全の日」と定め、慰霊、社長訓示、外部講師による講演会を実施し、二度と重大事故を繰り返さないよう決意を改めています。

2025年度は、JR福知山線脱線事故に遭い、負傷された小椋聡氏を講師としてお招きし、「わたしたちはどう生きているのか ―JR福知山線脱線事故から20年―」についてご講演いただきました。

▶「安全繫想館^{けいそう}」から受け継がれる安全への決意

「安全繫想館」は、私たちが決して忘れてはならない過去の事故や事件の教訓を風化させることなく、安全確保への強い決意を未来へとつないでいくことを目的とした研修施設です。

▶安全研修でつくる安全文化

「安全研修」は、日比谷線列車脱線衝突事故の反省と教訓を心に刻み、二度と繰り返さないという決意をもって、お客様の安全を第一に社員自らが「気づき、考え、行動」することで安全文化の向上に取り組むことを目的に、安全繫想館において実施する研修です。東京メトログループの全役員・社員が継続的に受講しており、2025年10月から5巡目の研修を実施しています。



CONTENTS

イントロダクション

編集方針

CONTENTS

事業の全体像・セグメント構成

経営指針

すべてはお客様の「安全」のために

01 コミットメント

02 価値創造

03 戦略

04 サステナビリティ

05 コーポレート・ガバナンス

06 データ

